

(中間処理業者)  
(別添様式 2)

補助対象事業実施実績報告書 (平成〇〇年度)

1. 認定復旧工事業者からの塩ビ管(産業廃棄物)を処理後、認定リサイクル処理業者 A に運搬する場合

認定復旧工事業者名 : \_\_\_\_\_

認定リサイクル処理業者名 : \_\_\_\_\_

処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
異物除去 (補助 : 4 円/kg)				
小計 A				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
切断 (補助 : 4 円/kg)				
小計 B				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	運搬先	補助請求 (円)
自社から認定リサイクル処理業者 A までの運搬 (費用の 1/2)				
小計 C				
合計 (小計 A+小計 B+小計 C)				

(報告書の記載例)

認定復旧工事業者名 : 〇〇会社 \_\_\_\_\_

認定リサイクル処理業者名 : △△会社 \_\_\_\_\_

処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
異物除去 (補助 : 4 円/kg)	1,000	H28. 12. 15	4,000	
		H28. 12. 16		
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
小計 A				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
切断 (補助 : 4 円/kg)	1,000	H28. 12. 19	4,000	
		H28. 12. 20		
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
小計 B			8,000	
処理項目	処理量 (kg)	処理日	運搬先	補助請求 (円)
自社から認定リサイクル処理業者 A までの運搬 (費用の 1/2)	1,000	H28. 12. 19	〇〇会社 熊本市△△	15,000
	1,000	H28. 12. 23	〇〇会社 熊本市△△区	15,000
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
小計 C				
合計 (小計 A+小計 B+小計 C)				

2. 自治体からの塩ビ管（一般廃棄物）を処理後、認定リサイクル処理業者 A に運搬する場合

自治体名： \_\_\_\_\_

認定リサイクル処理業者名： \_\_\_\_\_

処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
異物除去 (補助：4 円/kg)				
小計 A				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
切断 (補助：4 円/kg)				
小計 B				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	運搬先	補助請求 (円)
自社から認定リサイクル処理業者 A までの運搬 (費用の 1/2)				
小計 C				
合計 (小計 A+小計 B+小計 C)				

(報告書の記載例)

自治体名： ◎◎市 \_\_\_\_\_

認定リサイクル処理業者名： △△会社 \_\_\_\_\_

処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
異物除去 (補助：4 円/kg)	1,000	H28. 12. 15	4,000	
		H28. 12. 16		
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
小計 A				
4,000				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	補助請求 (円)	
切断 (補助：4 円/kg)	1,000	H28. 12. 19	4,000	
		H28. 12. 20		
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
小計 B				
8,000				
処理項目	処理量 (kg)	処理日	運搬先	補助請求 (円)
自社から認定リサイクル処理業者 A までの運搬 (費用の 1/2)	1,000	H28. 12. 19	〇〇会社	15,000
			熊本市△△区	
	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
小計 C				
15,000				
合計 (小計 A+小計 B+小計 C)				
23,000				

(1～2の記載上の留意点)

- ・処理量は、受入時に計測した量の記録（写し）及び搬入時に認定リサイクル処理業者 A が計測した量の記録（写し）を添付のこと。
- ・処理日は、異物除去や切断処理を行った日を記載するとともに、認定リサイクル処理業者 A への持ち込み日毎に、それぞれの処理後の写真を 1 枚添付のこと。また、運搬については、運搬日、運搬先を記入するとともに、運搬日及び運搬費用の記録（写し）を添付のこと。
- ・補助請求額は、処理項目に記載する補助額に処理量または運搬費用を乗じた額を記入すること。